

アサヒホールディングス株式会社 2023年3月期通期決算説明資料

2023.4.27

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



I. **2023年3月期通期決算**
(2022年4月～2023年3月)
Financial Results for FY2023.3

II. **参考資料**
Appendix

経営成績

2023年3月期 決算実績

売上収益 2,924億円（前期比 1,000億円）
 営業利益 192億円（前期比 △72億円）

回収内容の変化

宝飾分野からの回収量が増加したことや金価格の上昇に伴い売上収益は増加
 一方で宝飾分野の利益率は他の分野に比べると低いため、増収による利益貢献は限定的
 触媒分野及びデンタル分野からの回収は、前年比減少

ロジウムの価格下落

自動車触媒に含まれるロジウムの価格が第4四半期を中心に急落かつヘッジが難航

堅調な北米精錬事業

ストックテイクの影響を除くと増益であり、北米精錬事業は堅調

好調な環境保全事業

工業生産活動の回復を受け、好調に推移
 連結子会社の譲渡や、既存設備の減損があったにも関わらず増益

一過性の損失

（営業利益に影響）

- ・ 横浜の焼却炉建設に伴う既存設備の減損他 9億円
- ・ 北米のカーボン事業撤退の減損 4億円
- ・ 持分法投資損失 6億円

（その他の費用に計上）

- ・ 持分法適用会社の知的財産権損害賠償金の当社負担分 15億円
- ・ 持分法適用会社の株式譲渡損失 18億円

トピックス

坂東工場の操業開始

2022年4月より坂東工場が操業開始
最新鋭の設備と高い生産能力で、宝飾分野からの回収量増加に大きく貢献

DXE事業の開始

子会社であるDXEが2022年6月に産業廃棄物処理をデジタルで効率化するサービスを開始

CO2排出削減実証事業

環境省の補助事業であるCO2排出削減実証事業は、水素製造装置を設置し技術実証実験を無事終了、水素サプライチェーン構築に向け次の段階に進む

アサヒプリテックの分社

貴金属リサイクル、貴金属精錬と製造・販売、環境保全を3分割にし、各子会社の機動的な経営を目指す

貴金属倉庫業の開始

2023年5月にNY州でCOMEXの認証を受けた貴金属倉庫業を開始予定

ESGの取組

2022/3期のScope1.2.3排出量を開示
CDP気候変動でBスコアを取得
健康経営優良法人に4年連続で認定
選択的週休3日制を2022年10月より開始
TSR連動型株式報酬制度を2024/3期より導入予定

単位：億円

	2022/3期	2023/3期		2024/3期	
	実績	実績	前期比 増減	予想	前期比 増減
売上収益	1,924	2,924	1,000	2,500	△424
営業利益	264	193	△72	190	△3
営業利益率	13.7%	6.6%	△7.1%	7.6%	1.0%
税引前利益	264	161	△103	185	24
当期利益※1	187	109	△78	132	23
設備投資	83	49	△34	124	75
減価償却費	27	33	6	31	△2

※1 親会社の所有者に帰属する当期利益

貴金属事業

貴金属リサイクル分野の回収量は第3四半期比減少。宝飾分野で大口径取引先からの回収量が減少したこと、触媒分野で貴金属価格が下落したこと、エレクトロニクス分野で在庫調整の動きがあったことが主要因。一方でデンタル分野からの回収は増加。

分野	事業環境
デンタル	診療制限の緩和に伴い患者数は改善傾向だが、代替製品の浸透もあり回収量は依然として減少傾向
宝飾	買取需要は相場不安感から一時的に減少したが回復、製造業は海外催事等の再開で回収量増加傾向
触媒	国内はPGM相場下落の影響を受け回収量が減少、海外は韓国触媒メーカーからの回収量が減少
エレクトロニクス	インフレ高進と中国市場減退により、サプライチェーン上の在庫調整の影響を受け回収量は急減速
北米精錬事業	製品加工・販売などの取引が堅調

環境保全事業

コロナ終息の影響にて、医療関連からの回収量は減少傾向。自動車関連は依然として低迷。

業界	事業環境
教育・研究機関	教育機関からの回収量は前年同期と比較し若干減少傾向
建設	資材価格の高騰の影響で民間住宅建設は減少したが民間非住宅建設は増加
自動車	半導体・部品不足による工場稼働減により関連部品工場からの廃棄物回収量は低迷
電子	取引先である部品メーカー群が発注元の在庫調整を受け、廃棄物排出量が減少傾向
医療	コロナ感染者の減少に伴い、関連医療廃棄物の回収量は減少傾向
化学	化学工業の生産指数は前年同時期に比べ若干の減少基調

貴金属リサイクル事業（国内・アジア）

2023/3期実績

宝飾分野からの回収量が増加し、それに伴い販売量が増加したため売上収益に大きく貢献。

一方で、相対的に利益率の高いデンタル分野及び触媒分野の回収量が減少。

自動車触媒に含まれるロジウムの価格が急落かつヘッジが難航。

→増収・減益

2024/3期予想

足元の貴金属価格の影響、分社に伴いセグメント外に計上していた費用をセグメント内に振り分けることや、組織体制強化費用が生じることの影響を見込む。

→減収・減益

北米精錬事業

2023/3期実績

精錬を土台とした各種付加価値取引が堅調に推移。一方、コロナ禍の影響により、2022/3期は2021/3期と合わせて2年分相当の利益貢献があったストックテイクが、2023/3期は1年分と平準化した影響あり。

→増収・減益

2024/3期予想

引き続き精錬をベースとした付加価値サービスを拡大

→増収・増益

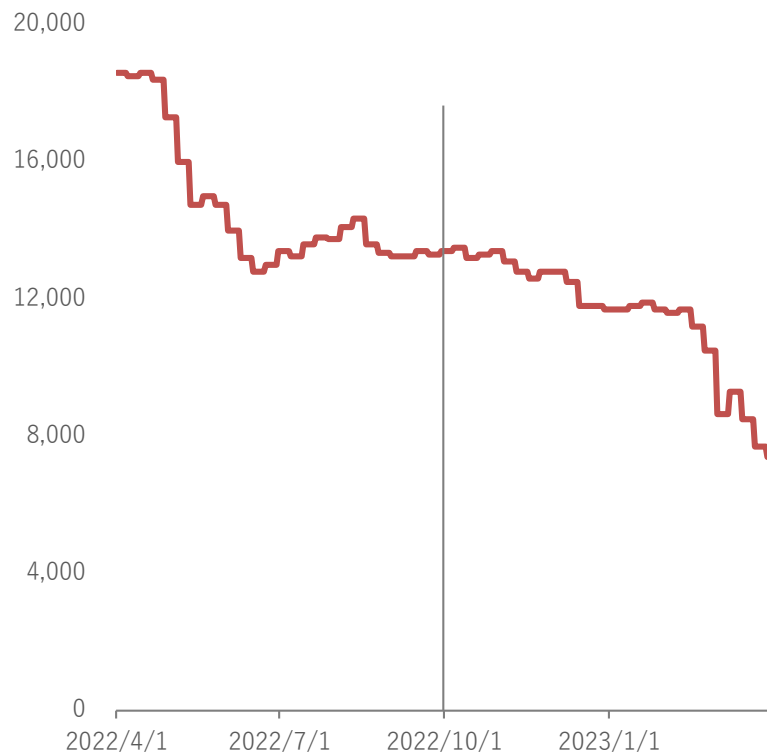
(単位：億円)

貴金属	2022/3期	2023/3期		2024/3期	
	実績	実績	前期比増減	予想	前期比増減
売上収益	1,739	2,742	1,003	2,320	△ 422
営業利益	266	198	△ 68	167	△ 31
利益率	15.3%	7.2%	△ 8.1%	7.2%	0%

- 当社は貴金属市況の影響を回避するため、貴金属は原則ヘッジを実施
- 自動車触媒に含まれるロジウムはマーケットが小さくヘッジキャパシティが限定的
- 昨今の価格急落によりヘッジが難航、加えて低価法が適用されるなど大きな減益要因となる
- ヘッジ先の拡大やヘッジ手法の多様化等対応策を実施中

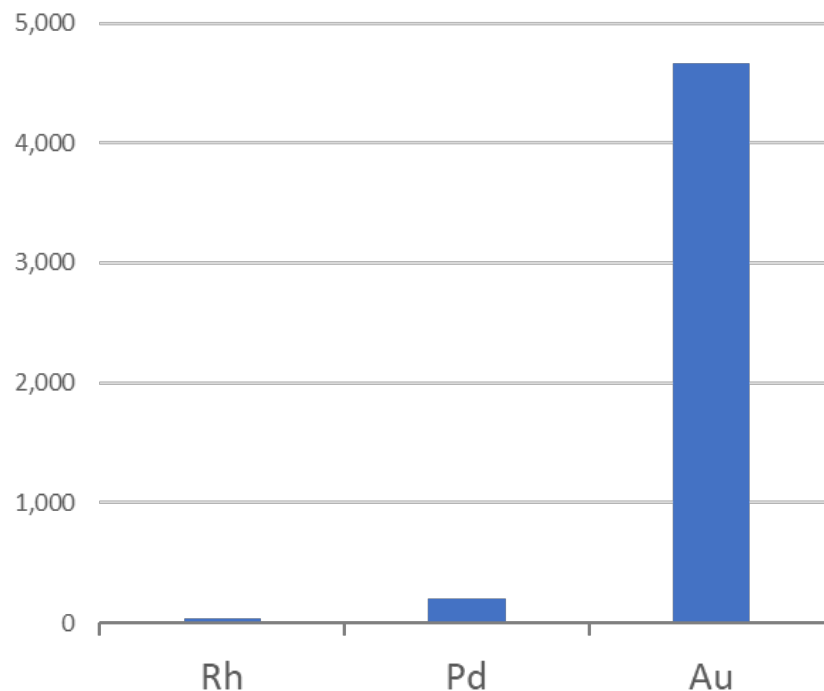
・ロジウムの価格推移

(単位：\$/toz)



・貴金属の世界供給量 (2021年)

(単位：トン)



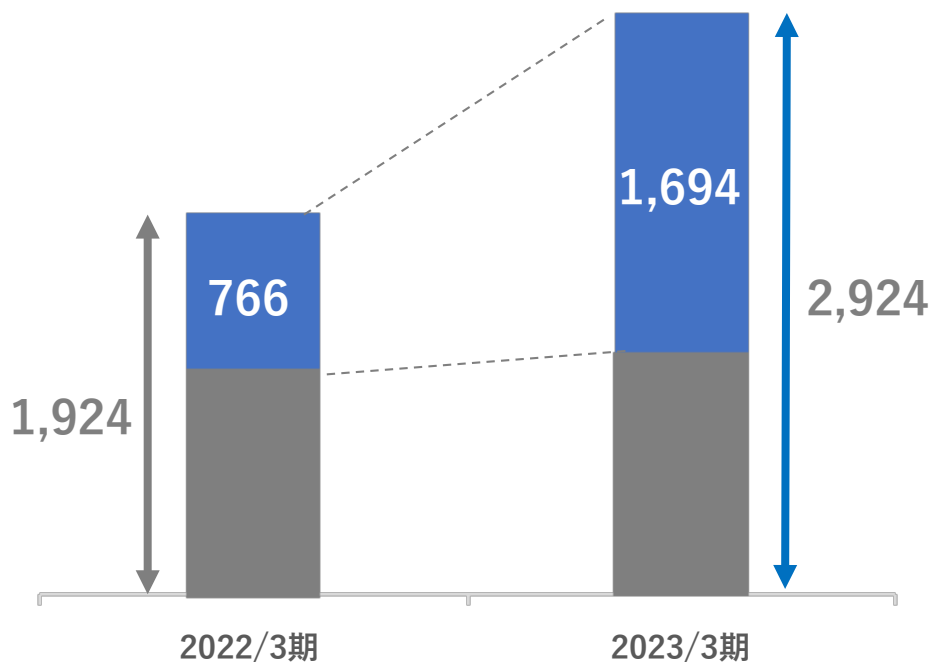
※参照元：MetalsWeek NY Dealer Prices, Metal Focus, WORLD GOLD COUNCIL「ゴールド・デマンド・トレンドデータ」、当社調べ

- 増収の要因は主に金の販売量の増加、宝飾分野からの回収量増加が大きく貢献
- 一方で宝飾分野の利益率は他の分野に比べると低いため、増益効果は限定的
- 2024/3期も分野別の構成比率は2023/3期並みを想定

・売上収益内訳

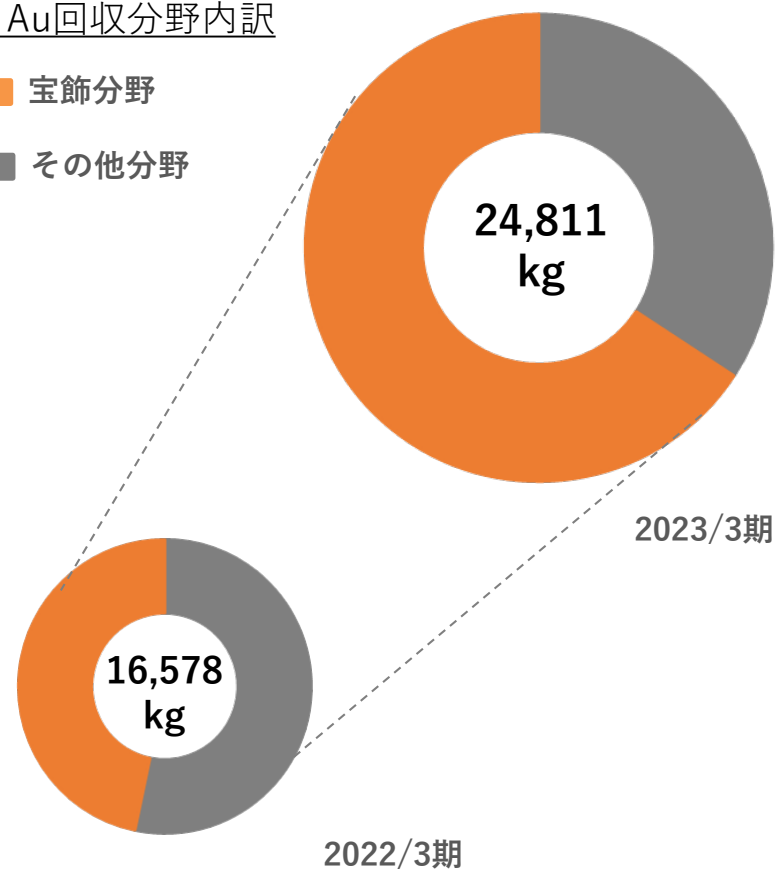
単位：億円

■ Au販売額 ■ その他販売額

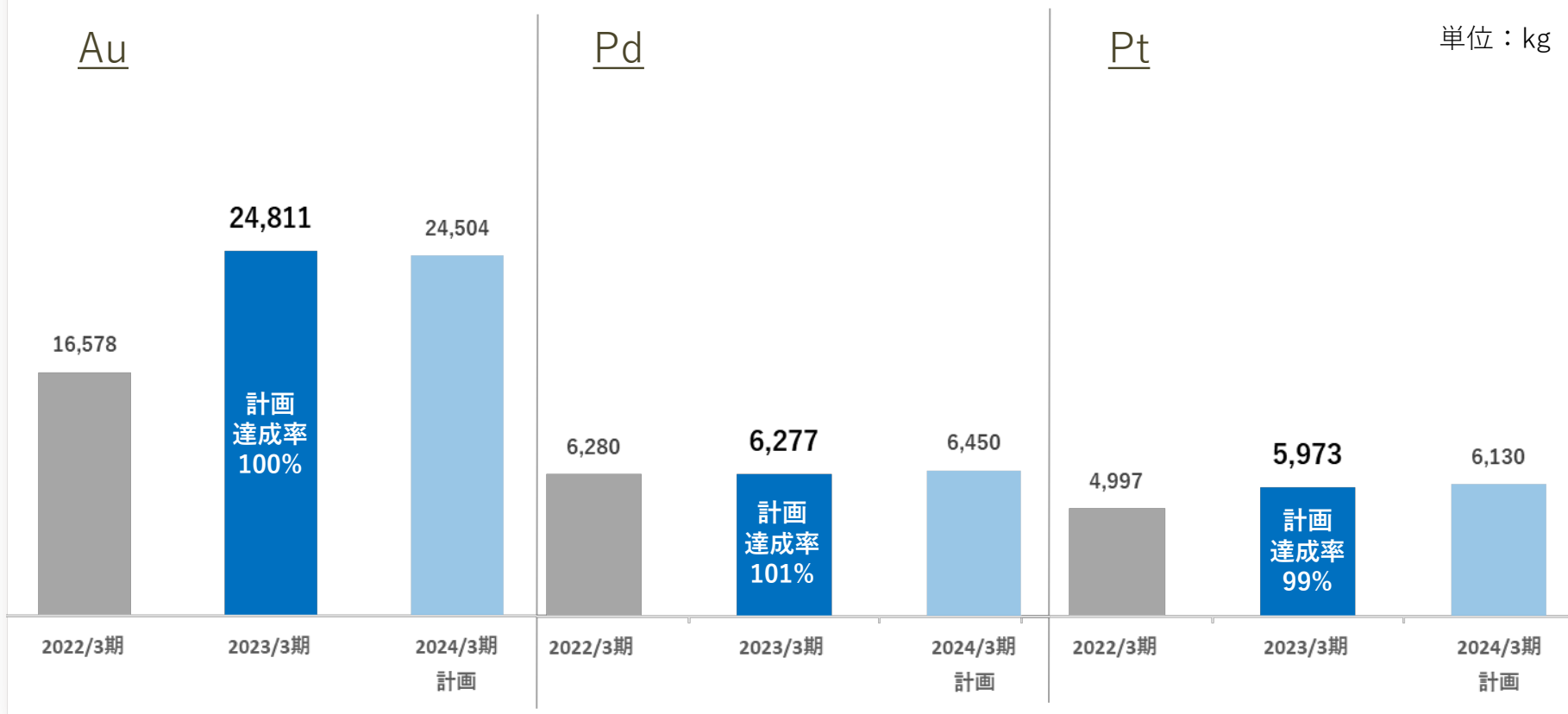


・Au回収分野内訳

■ 宝飾分野 ■ その他分野



- 金の回収量は、宝飾分野を中心に前期比で約8トン増加
- パラジウムは、デンタル及び触媒分野の回収量減少を宝飾分野の回収量増加で補い、概ね前期並み
- プラチナは、宝飾分野の回収量増加が触媒分野の回収量減少を上回り、前期比で1トン増加



環境保全事業

2023/3期実績

工業生産活動の回復傾向を受け、当社の産業廃棄物の処理量も増加し、施設の稼働状況も高い水準を維持。コロナ関連の医療廃棄物など高単価案件も堅調推移。

2022年5月にJWガラスリサイクル（2022/3期：売上収益12億円、営業利益2億円）を譲渡した影響や、2025年に稼働予定の横浜新焼却炉建設に伴う既存設備の減損等（9億円）の影響をカバー。

→減収・増益

2024/3期予想

コロナ関連の医療廃棄物の減少を他の廃棄物で概ねカバーする計画。一方で、分社に伴いセグメント外に計上していた費用をセグメント内に振り分けることや、分社後の組織体制強化費用が生じることの影響を見込む。

→減収・減益

(単位：億円)

環境	2022/3期	2023/3期		2024/3期	
	実績	実績	前期比増減	予想	前期比増減
売上収益	186	182	△ 3	180	△ 2
営業利益	37	38	1	23	△ 15
利益率	20.1%	21.1%	0.9%	12.8%	△ 8.3%

前提条件

2024年3月期 業績予想	売上収益	2,500億円	(前期比)	△424億円
	営業利益	190億円	(前期比)	△ 3億円

回収量 事業環境を踏まえ、貴金属回収量は概ね前期並みを計画

設定相場の変更 作成時の貴金属価格をベースに業績を予想

**分社に伴う
会計処理の変更** 分社により貴金属回収経費が資産計上出来なくなることによる一過性の費用計上
分社に伴い従来セグメント外（調整額）で計上していた費用を各セグメントに配分
上記はいずれも新たなキャッシュアウトはなし

分社に伴う体制強化 アサヒプリテックの分社に伴う各社バックオフィス・管理体制の拡充（子会社の上場準備に向けた体制整備を含む）

**エンゲージメント
(従業員政策)** 初任給を含む給与の引き上げ、幹部社員増強、全社員総会等

総合CI戦略 社名変更、ブランディング、広告宣伝等

成長のためのR&D等 DXE事業の本格立ち上げ、貴金属リサイクルの新分野・新製品等の開拓のためのR&D等

→ **費用の増加**

単位：億円

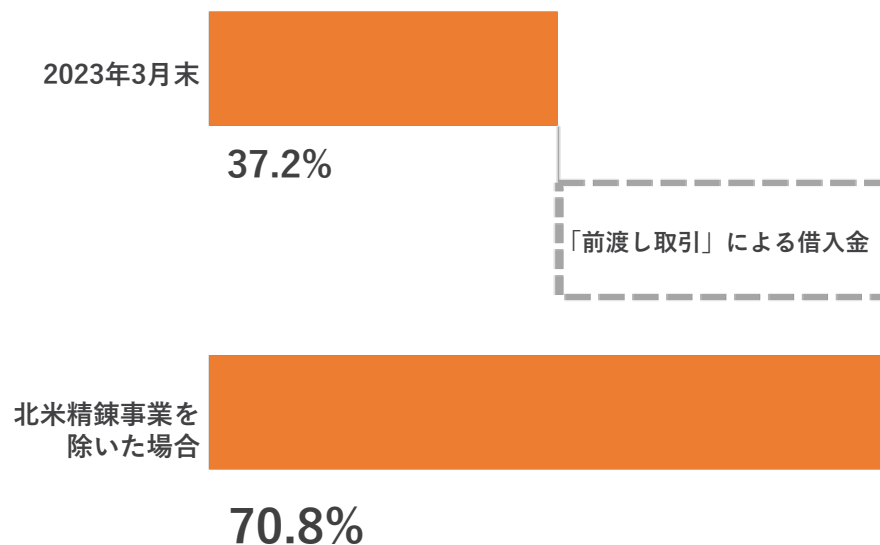
	2022年 3月末	2023年 3月末	増減	備考
流動資産	2,418	2,384	△ 34	
営業債権	1,514	1,540	26	営業債権残高および増減額の大部分は北米事業の前渡し取引等による借入金見合いの債権。
棚卸資産	634	409	△ 225	棚卸資産残高および増減額の大部分は貴金属リサイクル事業の貴金属含有原材料/仕掛品/製品。原則として買取時に貴金属価格をヘッジしているため、価格変動リスク、品質劣化リスクともに限定的。
その他	269	435	165	
非流動資産	566	491	△ 75	
資産計	2,984	2,874	△ 109	
負債	1,933	1,805	△ 128	
社債及び借入金	1,509	1,444	△ 66	大部分は北米事業の前渡し取引等の借入金。原料入荷後に借入で前渡し地金を調達し、返済期日にあわせて貴金属価格をヘッジしているため、価格変動リスク、貸倒リスクともに限定的。
その他	423	361	△ 62	
資本	1,051	1,070	18	
資本・負債計	2,984	2,874	△ 109	

財政状態

(単位:億円)

	2023年 3月末	北米精錬事業を 除いた場合
流動資産	2,384	1,021
非流動資産	491	491
資産計	2,874	1,511
負債	1,805	442
資本	1,070	1,070
資本・負債計	2,874	1,511

自己資本比率



- 金融サービスに必要な大規模資金を競争力のあるレートで調達
- 前渡し取引は精錬契約に紐付き
- 金利上昇時も、北米精錬事業の収益性は概ね不変

投資目的：事業拡大・利益率向上
 第9次中期経営計画（3年間）投資総額：227億円



坂東工場

- ・アジア最大級の最先端リサイクル工場



北米精錬事業
 (精錬&倉庫設備)

- ・倉庫事業の立上げ&既存設備強化



横浜焼却炉*イメージ

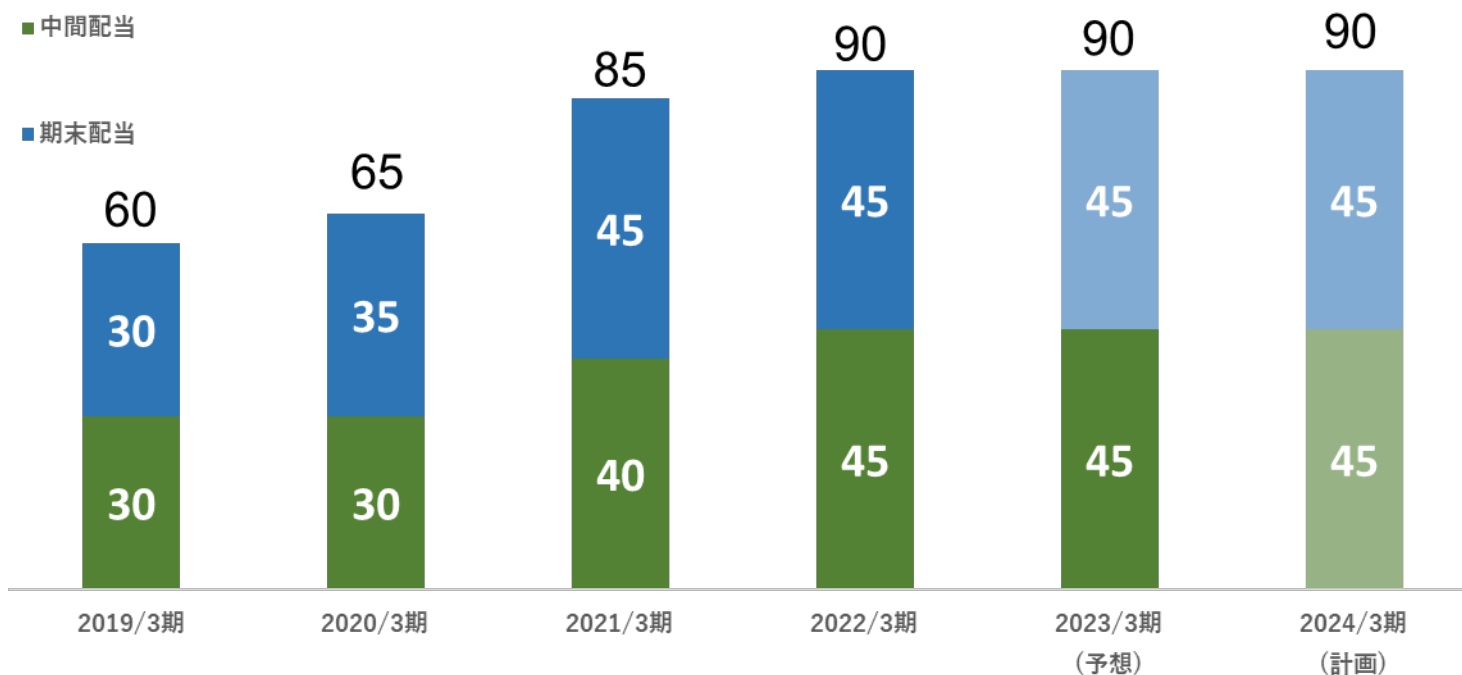
- ・東日本地域の廃棄物を大型焼却拠点

単位：億円

	2022/3期	2023/3期	2024/3期
	実績	実績	計画
貴金属事業	77	45	104
国内	40	25	57
海外	36	20	46
環境保全事業	7	5	21

基本方針：成長戦略のための設備投資やM&Aに必要な内部留保充実を図りながら、
 配当性向40%を目処とし、現在の年間配当水準から目減りさせず、安定的に配当を継続する

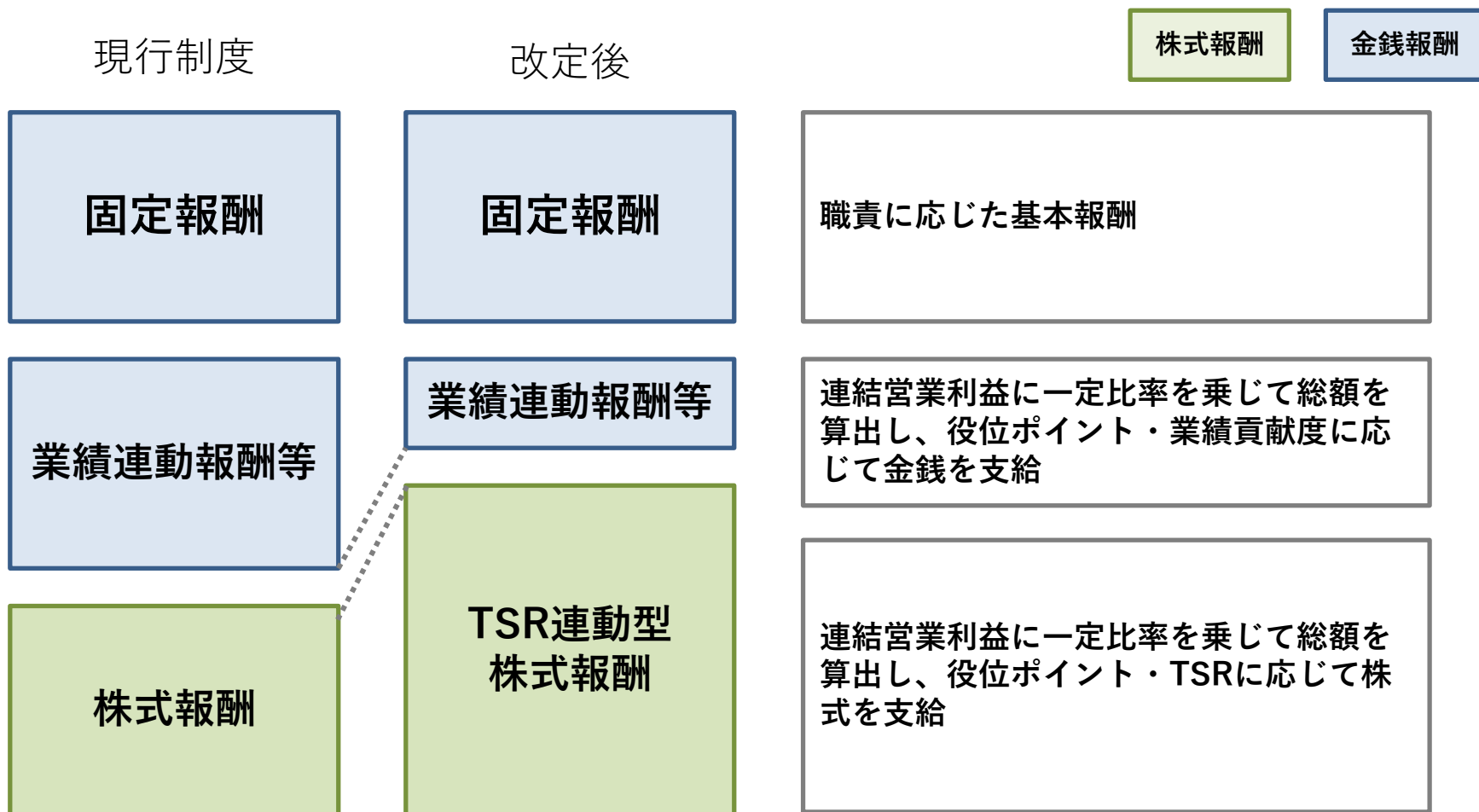
単位：円



1株当たり利益(円)	114.07	125.12	326.90	238.11	141.19	172.23
配当性向(%)	52.6	52.0	26.0	37.8	63.7	52.3

※2021年4月1日に1:2の株式分割を実施しており、2021/3期までの1株当たり配当金および1株当たり利益は分割後のベースに換算して表示

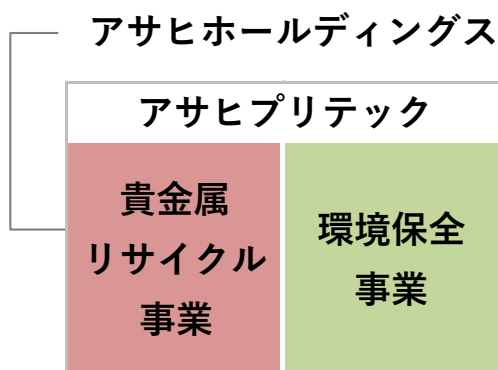
- 経営陣が企業価値向上を目指し、従来以上に株価や株主還元を意識して事業を運営するために、2024/3期からトータルシェアホルダーリターン（TSR）を指標とした株式報酬制度を導入予定。



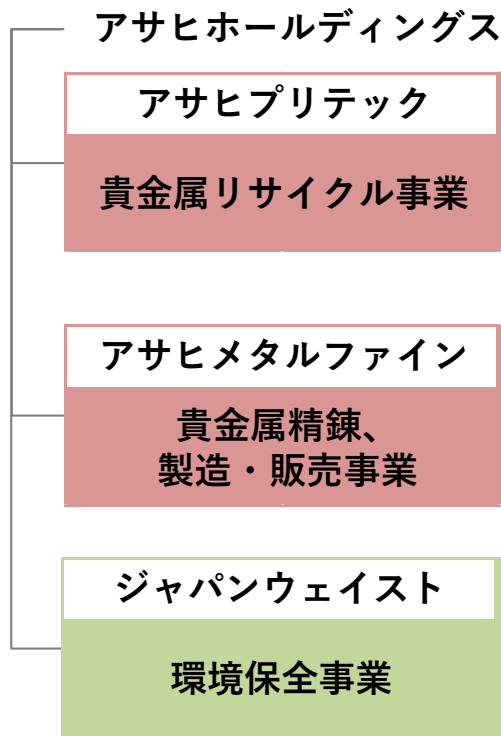
* 2023年6月の株主総会で決議されることが前提、移行期間あり

- 第9次中期経営計画基本方針「世界的な成長への基礎固め」の施策の一つ
- 各社が最適かつスピーディーな意思決定を行うことで、グループ全体の企業価値向上を目指す

(旧)



(新)



(目的)

貴金属リサイクルのリーディングカンパニーとして、既存事業の強化と積極的な海外展開に加えて新たな事業領域/商材に取り組む

人権・環境に配慮した貴金属製品の精錬、製造・販売や新サービスを通じてグローバルな「アサヒブランド」の確立を目指す

全国ネットワークとライセンス、処理施設の技術力、専門性の高い営業力、独自のDXサービスを活かし、国内屈指の産業廃棄物専門企業を目指す

- 2023年7月1日付けで、「AREホールディングス株式会社」に社名変更予定
- パーパス「この手で守る、自然と資源」を社名に刷り込み実践する企業グループへ

(新社名) AREホールディングス

Asahi
Resources & Environment = 資源と環境を本業とし、
環境保全と
環境に配慮した資源再生を営む



*6月の株主総会で決議されることが前提



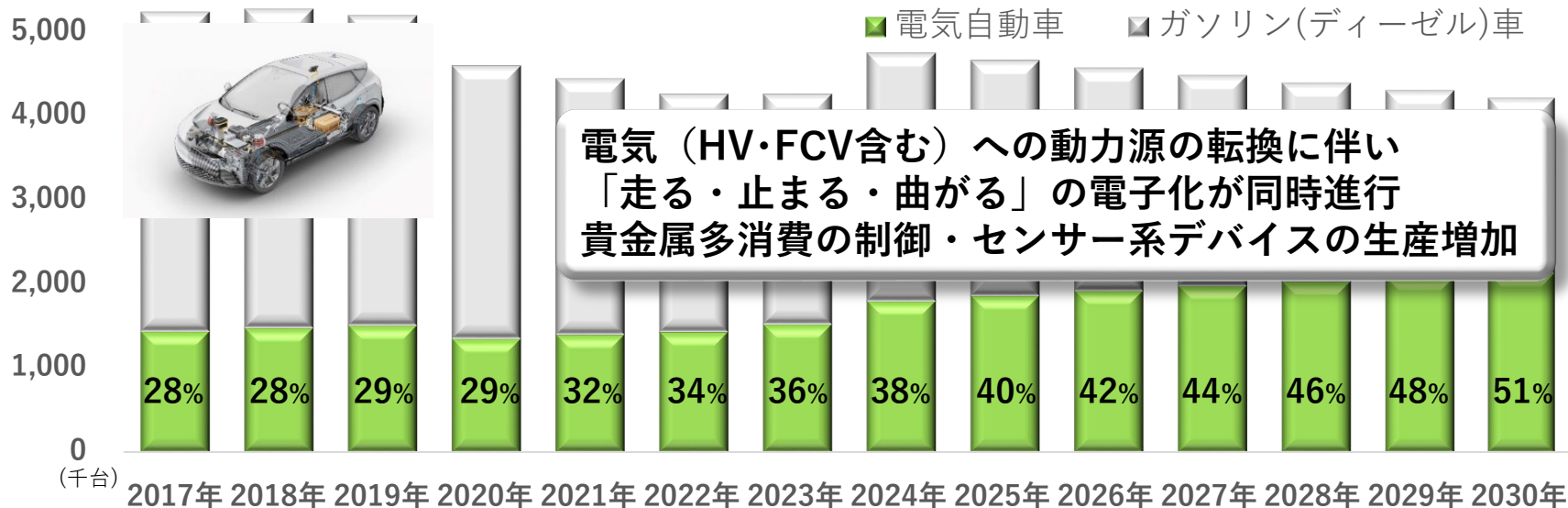
I. 2023年3月期通期決算
(2022年4月～2023年3月)
Financial Results for FY2023.3

II. **参考資料**
Appendix

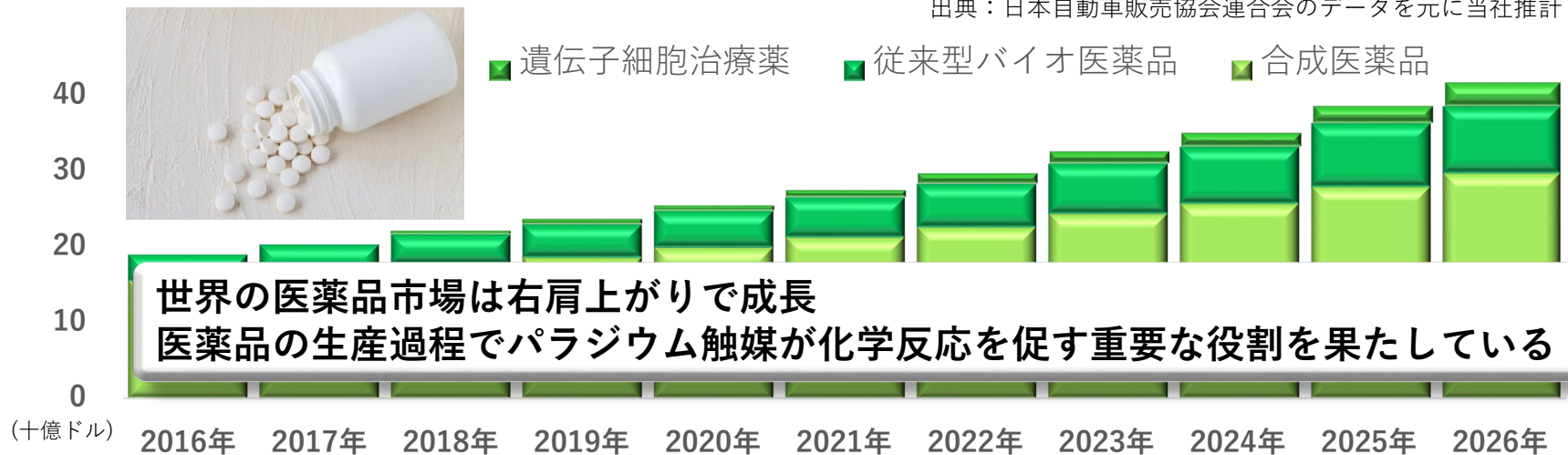


■リサイクル分野の事業戦略
 技術革新に伴い市場拡大が期待できる分野への進出によって、更なる回収量を確保する

社会の課題解決がリサイクル新市場を創造、当社のビジネスチャンスを生む



出典：日本自動車販売協会連合会のデータを元に当社推計



- エレクトロニクス業界では、循環型社会の形成やカーボンニュートラル、SDGs・ESGへの対応により、リサイクル由来のシアン化金カリウムの需要が高まっている。
- 上記ニーズを踏まえ、シアン化金カリウムの製造ラインを設置し、2023年4月より製造及び販売を開始。



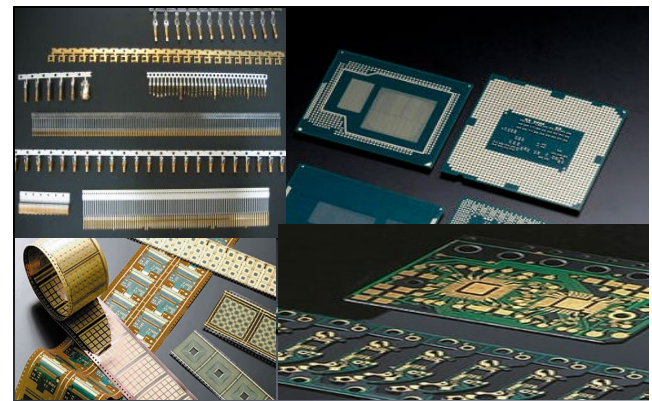
シアン化金カリウム



シアン化金カリウム製造設備

■外部環境

日本国内にもサプライヤーを持つ
世界的大手スマートフォンメーカーが2030年までに
サプライチェーンの100%カーボンニュートラル達成を宣言



- 世界的宝飾ブランドは人権・CO2・環境に配慮した貴金属を愛好
- 宝飾分野以外、金以外の他の貴金属でも「グリーン」愛好は拡大
- 当社はリサイクル・トレーサビリティ・国際認証で市場をリード

- 主要供給施設の坂東工場



◆坂東工場の特長

- 原材料回収から製品化までの工程を集約
- 最先端IoT技術の導入により、生産効率を向上
- BCM（事業継続マネジメント）の観点で優れた工業生産地域
- 建造物省エネルギー性能表示制度（BELS）において、最高評価とZEB Ready*認証を取得

金融事業の強化

- ・トレーディング
- ・貴金属倉庫
- ・融資、仕組み金融
(南米鉱山の環境対策資金支援等)

ダウンストリームの開拓

- ・ミント、プロダクト



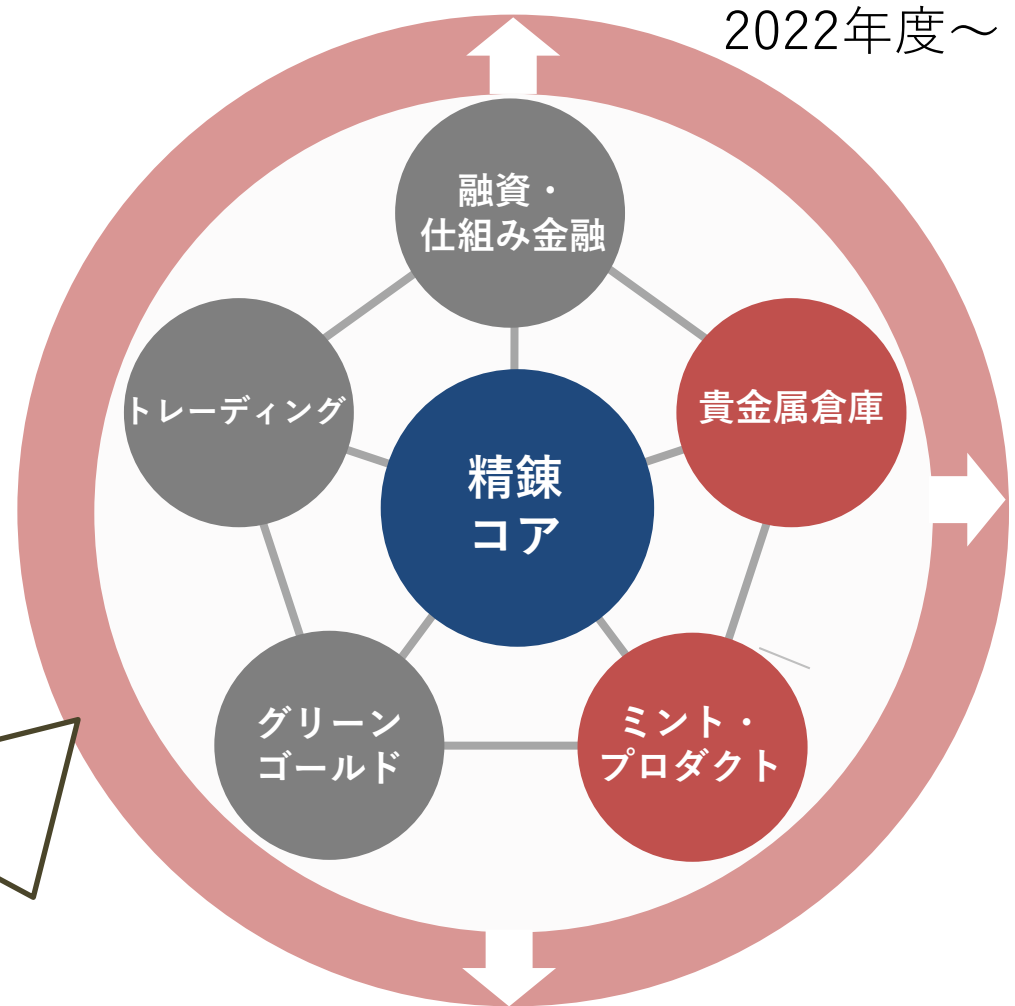
「アメリカン・リザーブ」
米国採鉱・米国精錬で
大ヒットした当社製品

宝飾産業顧客の拡大

- (人権・環境配慮の原材料調達)
- ・グリーンゴールド

2015年度
(買収時)

精錬
事業



- NY州で土地・建物を取得し、貴金属専用の倉庫を整備
- 5月上旬にNY商品取引所（COMEX）認可を取得し、COMEX認定貴金属倉庫事業を開始予定
- 銀の搬送も合わせて開始予定

■倉庫事業の概要

- COMEXにおける貴金属取引は、COMEXが指定する専用倉庫において行われ、指定倉庫事業者は所定の保管料（証書料、Warrant Fee）と受払時の出庫料（Withdrawal Fee）を受領
- 指定倉庫事業者となることで、保管料や出庫料といった安定収益の確保と、現物の輸送コストの削減等を見込む
- 将来的にトレーディング事業とのシナジーも見込む



- 事業拡大には継続的な投資実行が必要
- 当社は計画的な設備新設/更新を実施し処理能力を拡大

ひびき工場



2021年10月竣工
投資総額：約17億円

2025年10月竣工予定
投資総額：60億円

横浜工場



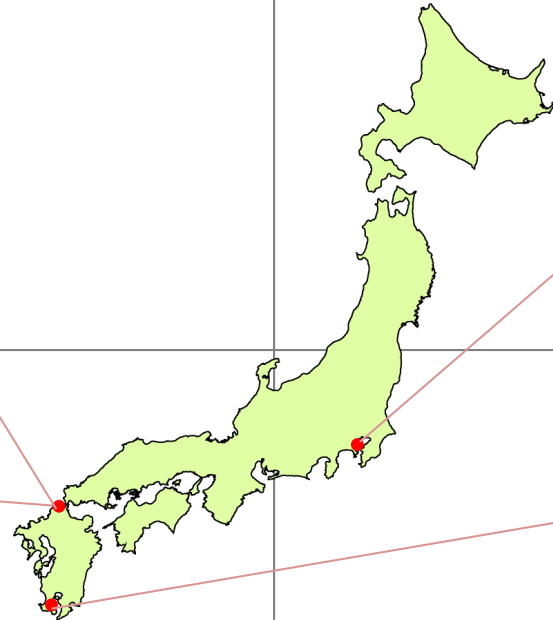
北九州工場



2020年10月竣工
投資総額：約40億円

2018年4月竣工
投資総額：約18億円

谷山臨海工場



- 産業廃棄物処理をデジタルで効率化し、環境負荷を削減、低炭素で持続的な社会の実現に貢献。
- 2023年4月に「DXE Station」としてサービスをアップデートし、処分事業者向けサービスを追加することで、マニフェストから売上請求まで一連の産業廃棄物処理業務を劇的に効率化。



2022年6月～

DXE 処理

Phase01 DXE処理の提供を開始

代行起票や受注管理の機能により、収集運搬業者の業務効率化を実現。

電子マニフェスト代行起票

電子マニフェストの自動起票

配車・ドライバーアプリとの連携

2023年4月～

DXE Station

Phase02 DXE Stationをリリース

回収管理から搬入管理まで、全廃棄物処理業者をシームレスに繋げる。

排出・収運・処分の
ワークフロー

電子契約
コンプライアンスチェッ
ク

売上・請求管理

電子マニフェスト
代行起票

電子マニフェスト
自動起票

配車・ドライバーアプリ
との連携

2025年～

DXE Station

Phase03 CO2排出量の抑制に寄与

CO2排出量の自動計算によるカーボンニュートラルへの貢献

CO2排出量の計算 ※

事業者レーティング&
マッチング

カーボンクレジット対応

排出・収運・処分の
ワークフロー

電子契約
コンプライアンスチェッ
ク

売上・請求管理

電子マニフェスト
代行起票

電子マニフェスト
自動起票

配車・ドライバーアプリ
との連携

※CO2排出量計算は検討中

● JPX日経インデックス400

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される、JPX日経インデックス400に3年連続採用

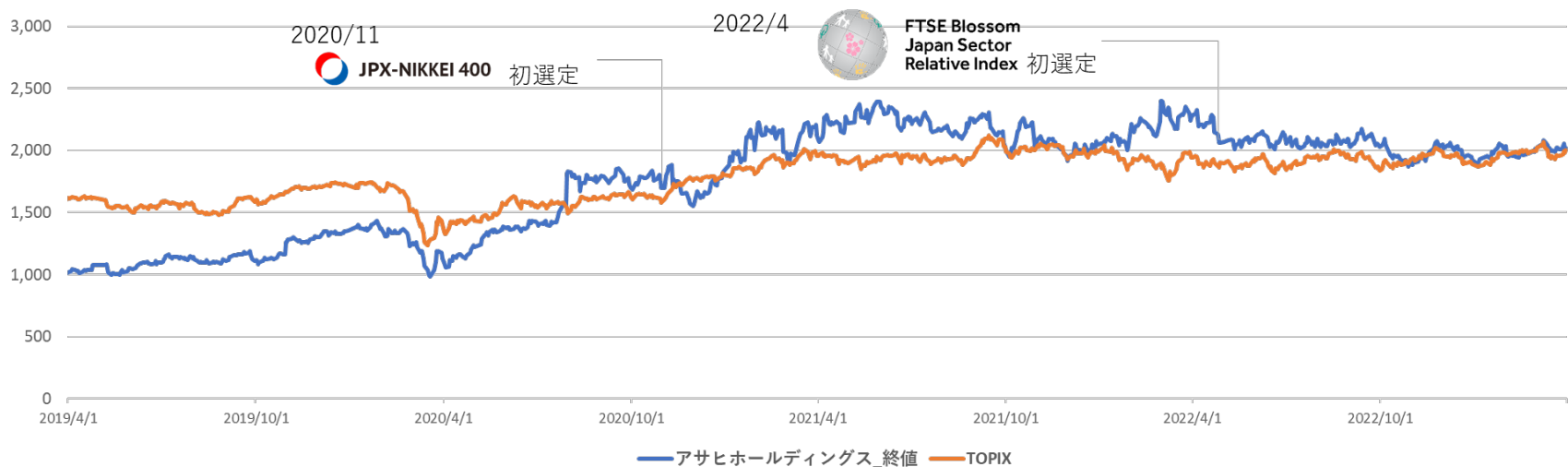


● FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するFTSE Blossom Japan Sector Relative Index（GPIFの運用のベンチマーク）に採用



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



- 当社の事業戦略＝カーボンニュートラル戦略
- TCFD準拠の開示、CDP気候変動でBスコア獲得
- 2022/3期のScope1.2.3排出量を開示済、2023/3期の排出量は第三者検証実施予定
- 週休3日等の新しい働き方導入、4年連続で健康経営優良法人に認定
- 経営陣にTSR連動株式報酬を導入

外部からの評価*

MSCI
ESG RATINGS



スコア
B

*2022年度における外部評価に基づく

ESG関連インデックスへの採用



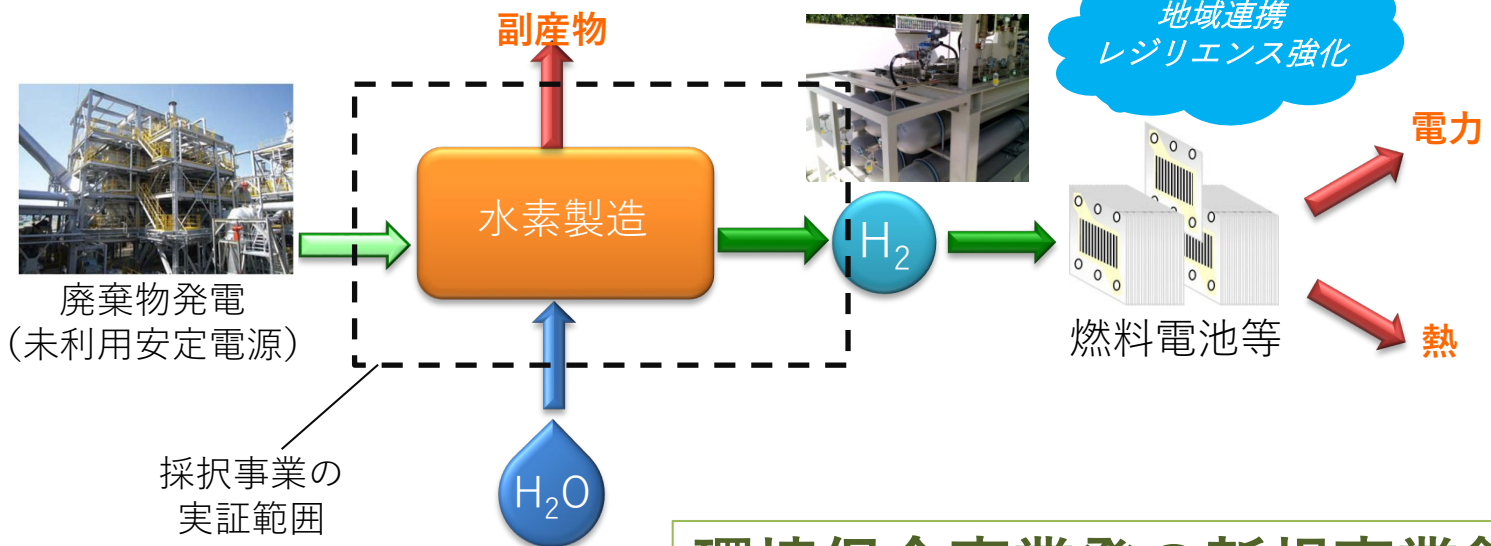
**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**



- アサヒプリテック株は、環境省の「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」において、エフシー開発株式会社、株式会社X-Scientia、三井住友信託銀行株式会社と共同で、「グリーン水素サプライチェーン構築に向けたシステム開発」を補助事業として実施中
- 2022年12月に北九州工場へ水素製造装置の導入が完了し、2023年3月末に技術実証試験を無事終了
- 引き続き水素サプライチェーンの構築と副産物の販売を目指す

副産物の販売により事業性を確保し
水素の普及拡大に貢献

CO₂排出削減



環境保全事業発の新規事業創出
= カーボンニュートラル戦略

貴金属リサイクルによる

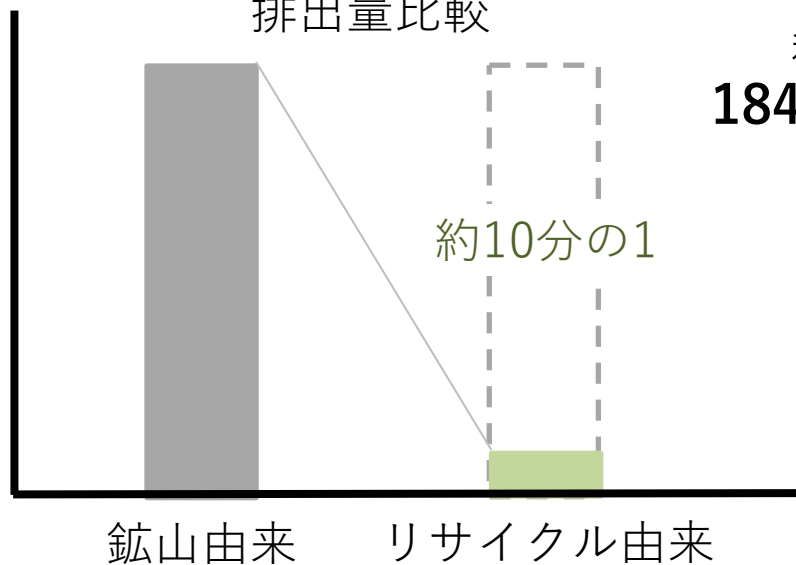
CO₂排出量の削減

環境貢献効果43.8万t CO₂

米国環境保護庁のデータをもとに作成

(t-Co2)

排出量比較



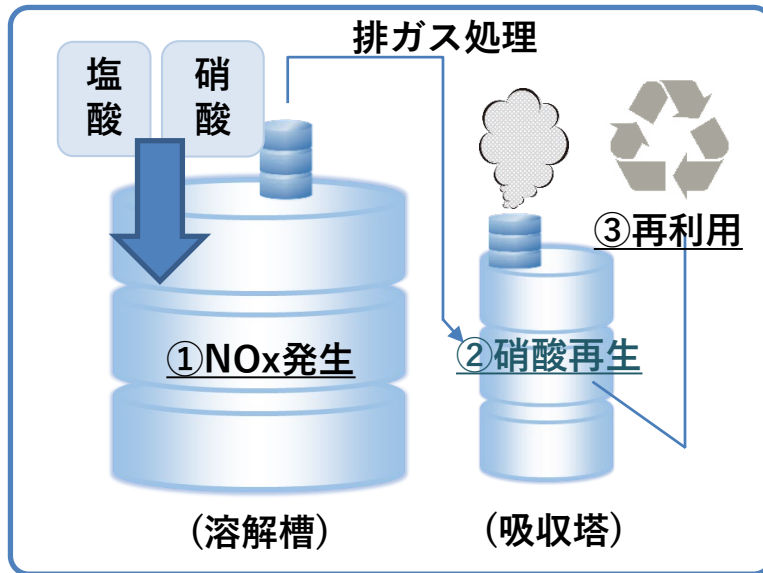
森林の温室効果ガス吸収量換算
184km² (東京23区の面積の3割相当)



貴金属リサイクルの成長戦略
 ニカーボンニュートラル戦略



硝酸によるリサイクル原材料溶解時、
NO_xガス発生量の99%を硝酸として再生利用



- ① リサイクル原材料溶解でNO_x発生
- ② 吸収塔で硝酸再生
- ③ 溶解槽で再利用



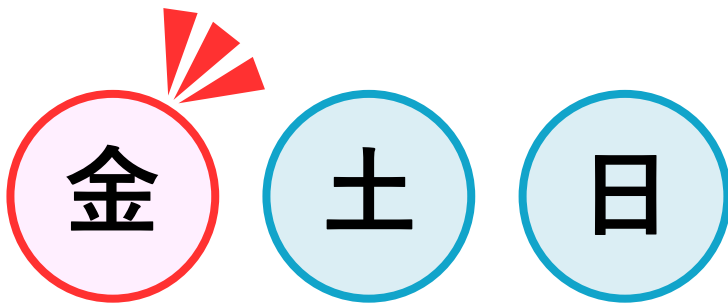
*溶解槽
実機



貴金属リサイクルコストの競争戦略
＝ カーボンニュートラル戦略

- 社員のワークライフバランスの向上と、組織の生産性向上や円滑な運営の両方を実現
- 職種や職場に応じて2つの働き方モデルを設定

週休3日モデルの推進

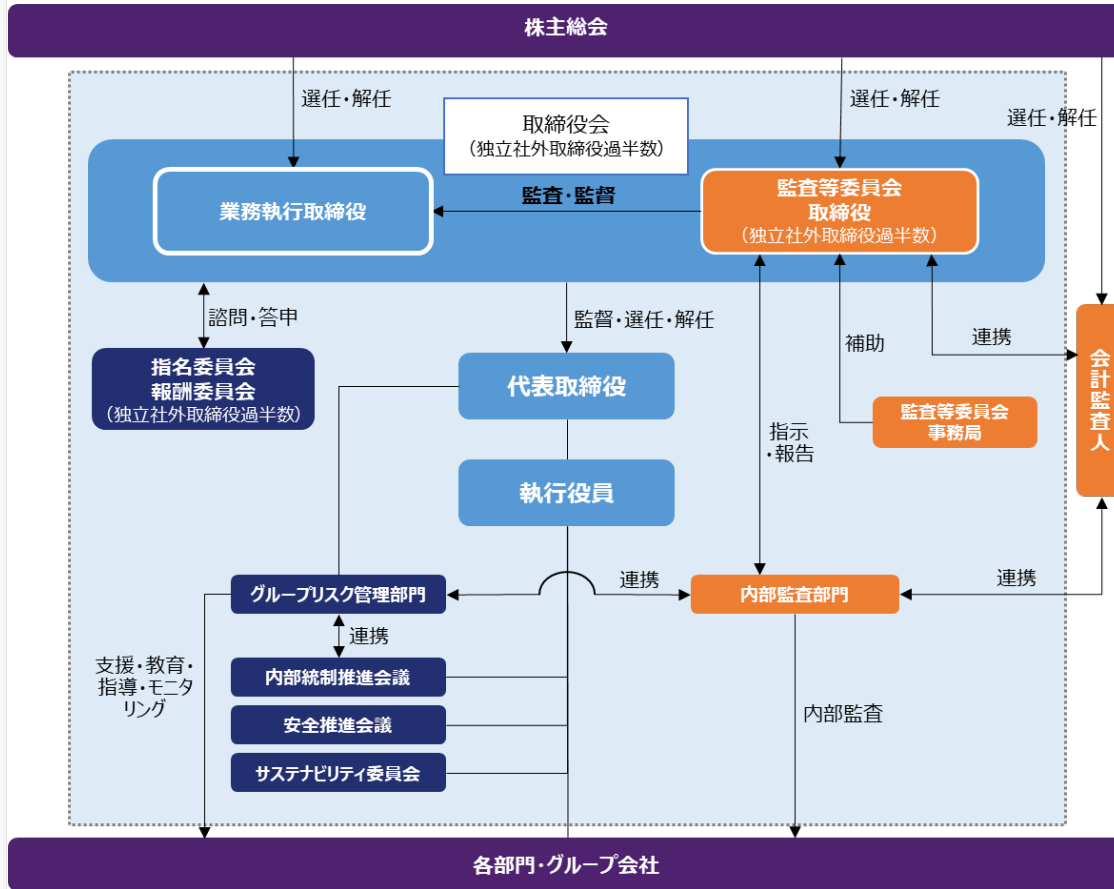


年間36日の指定休を設けることで
土日祝日と併せて週休3日を可能とするモデル

年10日指定休モデルの推進

日	月	火	水	木	金	土

年間10日の指定休を設け
年間を通じて柔軟に取得可能とするモデル



【取締役会】

過半数を独立社外取締役とし、業務執行取締役2名と、独立社外取締役4名を含む監査等委員5名の計7名(女性2名)で構成
毎年、実効性評価を実施し、評価結果をホームページに開示。

【監査等委員会】

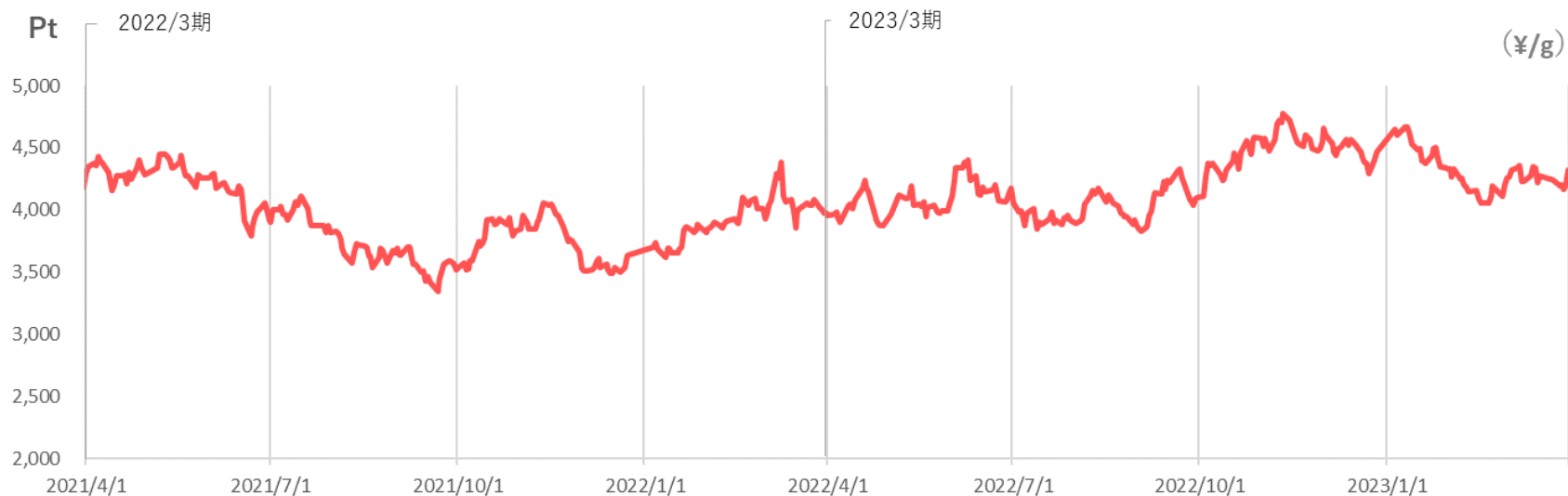
グループ会社の業務執行会議等に出席し、独立した立場から意見を述べるなど、**業務執行に対する監督機能を強化**。
独立社外取締役と業務執行取締役との連携を強化し、円滑な連絡・調整のため**筆頭独立社外取締役を選任**。

【リスク管理体制】

事業部門から独立した立場で、グループリスク管理部門がコンプライアンスリスク管理等を促進。

取締役会が適切なリスクテイクを行えるガバナンス体制を構築





単位：円

貴金属 価格 (1gあたり)	2022/3期 4Q	2023/3期 4Q	
	期中 平均価格	期中 平均価格	増減
金	7,028	8,058	1,030
パラジウム	8,814	6,833	△ 1,981
プラチナ	3,921	4,307	386

◆参照元
 金…山元建値
 パラジウム…日経安値
 プラチナ…小売価格（税抜）